

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 30 日

茨城県知事

大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県古河市北利根2

氏 名 積水ハウス株式会社 関東工場

業務役員工場長 齋藤 秀雄

電話番号 0280-92-6431

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社 関東工場
事業場の所在地	茨城県古河市北利根2
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業 金属製品製造業
② 事業の規模	141,894百万円（令和4 関東工場売上金額）
③ 従業員数	1,014人（令和5年4月1日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装工程の廃塗料を脱水処理施設にて脱水減量、汚泥を排出</li> <li>・製造工程の木材端材を破砕機にて破砕、チップとして売却</li> <li>・製造工程の梱包材軟質プラを破砕機にて破砕、燃料として売却</li> </ul>

（日本工業規格 A列4番）



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排出量	95,351.6 t	626.0 t
	(これまでに実施した取組)		
		窓の歩留まりを改善することで、排水濃度を下げて排水汚泥量を削減する。排水後の汚泥を一時的に貯留タンクに置き、乾燥させることで排水を下げる。	特になし。
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排出量	97,500 t	594.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
		窓の歩留まりを改善することで、排水濃度を下げて排水汚泥量を削減する。汚泥を乾燥させる乾燥材料化を行う。	特になし。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙

自ら行う産業廃棄物の発生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら発生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら発生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	94,396.0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
		給水の歩留まりを改善することで、排水濃度を下げて排水汚泥量を削減する。排水後の汚泥を一定時間場外に置き、乾燥させることで含水率を下げる。	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	93,295 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
		排水汚泥の含水率を下げる為薬品の量減を行っている。排水後の汚泥を一定時間場内には置き、乾燥させることで含水率を下げる。	

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	全処理委託量	1025.6 t	626.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	720 t	477.9 t
	市に利用業者への処理委託量	1025.6 t	626 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	汚泥の含水率を下げる為薬品の元正しを行っている 倉庫の歩留まりを改善することで、排水量を下げて排水汚泥量を削減している		

	②計画	【口ば】		
		汚染廃棄物の種類	汚泥	がれき類
		全処理委託量	1,015 t	594 t
		優良処理業者への 処理委託量	727 t	500 t
		戸別利用業者への 処理委託量	1015 t	94 t
		固定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
		固定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
			脱水汚泥の含水率を下 げる薬剤の見直しを 行っている。 資材の歩合りを改定 することで、排水濃度 を下げて脱水汚泥量を 削減する。	特になし
		心業務処理欄		

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理区域)  
別紙

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	計 量	46.6 t	349.1 t
	（これまでに実施した取組）		
		廃になし。	プラスチックの信頼ごみに分別し、可燃物量を増加した。
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	計 量	46 t	345 t
	（今後実施する予定の取組）		
		廃になし。	プラスチックの分別数を増やし、可燃物量をさらに増やす。しかし燃り上げが出来る関係で増加する

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	55 t
	（今後実施する予定の取組）		
	飲料プラスチックを粉砕し燃焼として処理		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら燃焼処理を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら燃焼処理を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	全処理委託量	46.6 t	349.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	24.7 t	201.0 t
	市に利用業者への処理委託量	31.9 t	349.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
		廃になし。	プラスチックの巨類別に分別し、古物増量を増加した。



②計画	【口ば】	産業廃棄物の種類	廃油	産プラスチック
		全処理委託量	46 t	290 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	40 t	210 t
		戸別利用業者への 処理委託量	40 t	150 t
		指定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
		指定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	22 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
			無になし。	プラスチックの分別数を増やし、有価物量をさらに増やす。
	心業務処理欄			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	2,669.10 t	15.2 t
	（これまでに実施した取組）		
		木材加工場の屑を見出し、木屑を回収した。木くずを載せるベチーフとして売却している。木くずをペレット原料として活用する量を増やす。	産業廃棄物として排出される金属くずは二次がみまれている為、異物を分別している。
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	排出量	2,670 t	15 t
	（今後実施する予定の取組）		
		木屑材を製材所材料として活用する。木材加工場の屑を見出し、歩留まりを更に向上させる。木くずをペレット原料として活用する量を増やす。	漆塗スパッタの粉め削減が目標。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,379.9 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
		木くずを回収し、チップとして有効活用する。	特になし。
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,366 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
		取組先を多くし、再生率向上を目指す。	特になし。
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら燃焼処理を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら燃焼処理を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全処理委託量	1,289.2 t	15.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	844.1 t	0 t
	市に利用業者への処理委託量	1,289.2 t	15.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
		木材加工等の屑材を元直し、木屑を削減した。穴屑を破砕し、木チップを有効に利用することで廃棄物処理量を削減した。	産業廃棄物として排出される金属くずは異物が含まれているため、異物を分別している

②計画	<table><tr><th colspan="3">【口ば】</th></tr><tr><th>産業廃棄物の種類</th><th>木くず</th><th>金属くず</th></tr><tr><td>全処理委託量</td><td>1,272</td><td>t</td><td>75</td><td>t</td></tr><tr><td>優良処理業者への 処理委託量</td><td>830</td><td>t</td><td>0</td><td>t</td></tr><tr><td>一般利用業者への 処理委託量</td><td>1270</td><td>t</td><td>15</td><td>t</td></tr><tr><td>認定熱回収業者への 処理委託量</td><td>0</td><td>t</td><td>0</td><td>t</td></tr><tr><td>認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量</td><td>0</td><td>t</td><td>0</td><td>t</td></tr></table>	【口ば】			産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	全処理委託量	1,272	t	75	t	優良処理業者への 処理委託量	830	t	0	t	一般利用業者への 処理委託量	1270	t	15	t	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t	(今後実施する予定の取組)		
		【口ば】																																	
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず																															
		全処理委託量	1,272	t	75	t																													
		優良処理業者への 処理委託量	830	t	0	t																													
		一般利用業者への 処理委託量	1270	t	15	t																													
		認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t																													
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t																													
		木屑材を製品原材料として転用する。 木材加工時の削屑を元直し、炭粉まきを更に直上させる	異物を分別し不燃物として売却する量を増やす。																																
中心業務処理欄																																			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙

## 産業廃棄物の排出の削減に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量	0 t	1,266.8 t
	（これまでに実施した取組）		
		ペーパーレス化を進め、紙くずを削減している。	塗装などのコンクリートの歩留まりを向上させる。
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量	0 t	1,200 t
	（今後実施する予定の取組）		
		更にペーパーレス化を進め、紙くずを削減する。	塗装工程でのコンクリートの歩留まりを向上させる。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の発生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・容器器くず
	自ら発生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・容器器くず
	自ら発生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の分別処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・容器器くず
	自ら燃焼処理を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら分別処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	22.4 t
	（これまでに実施した取組）		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・容器器くず
	自ら燃焼処理を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら分別処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	20 t
	（今後実施する予定の取組）		
	特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の処理処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら処理処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら処理処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	0 t	1,217.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	24.6 t
	市営利用業者への処理委託量	0 t	1,217.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の焼却処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
		社外製の紙類のみが主物とし、その他は紙屑かとして売却している。紙の使用量を削減する活動を行い、紙くずの量を削減している。	特になし



②計画	【口ば】	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス・陶磁器くず
		全処理委託量	0.0 t	1,180 t
		優良処理業者への処理委託量	0 t	30 t
		一般利用業者への処理委託量	0 t	440 t
		固定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		固定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
		更にペーパーレス化を進め、廃棄量を削減する。機密書類を紙原料としてリサイクル化する。	製造工程でのコンクリート歩留まりを向上させる	
	中心業務処理欄			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理区域)  
別紙

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	計 量	0 t	1 t
	(これまでに実施した取組)		
		取組なし	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	
	計 量	0 t	1 t
	(今後実施する予定の取組)		
		取組なし	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の発生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繰越くず	
	自ら発生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繰越くず	
	自ら発生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繰越くず	
	自ら燃焼処理を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繰越くず	
	自ら燃焼処理を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	総量（t）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	1
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	総量（t）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	1
	（今後実施する予定の取組）		

## 産業廃棄物の処分の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	総量（t）	
	全処理委託量	0	1
	優良認定処理業者への処理委託量	0	1
	市に利用業者への処理委託量	0	1
	認定熱回収業者への処理委託量	0	1
	認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量	0	1
	（これまでに実施した取組）		

②計画	【口ば】	産業廃棄物の種類	総額	
		全処理委託品	0	1
		優良処理業者への 処理委託品	0	1
		戸別利用業者への 処理委託品	0	1
		固定熱回収業者への 処理委託品	0	1
		固定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託品	0	1
		(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄				

(第2頁)

産業廃棄物の分別に関する事項

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	
	分別している種類	
①現状	1. 汚泥	脱水汚泥・塗料汚泥・コーキング
	2. 廃油	廃油・含油汚泥
	3. 廃プラスチック	異材質・複合異材質
	4. 木くず	木端材・生材合板・合板・木粉・ブリケット・木チップ
	5. 繊維屑	廃木屑（い草、粟床等）
	6. 金属屑	鉄屑・銅屑・アルミ屑・ステンレス屑・真鍮屑 等
	7. 紙くず	機密紙・梱包紙
	8. ガラス・陶磁器くず	コンクリートくず・廃石膏ボード・廃サイディング・陶磁器屑・ガラス屑・カラーベスト屑
	9. がれき類	不燃物・不燃含有物・建設廃棄物（コンクリートくず・アスファルト屑・廃土）
	分別に関する取り組み	
	<p>可燃物になる分別・破砕処理、マテリアルリサイクルになる分別を優先的に実施し、再利用できる物を拾い出す分別を行っている。</p> <p>更に処理費のコストダウンになる分別を行っている。</p>	
②計画	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	
	<p>今後も可燃物化、マテリアルリサイクル化を進める為の分別を行う、端材の再利用で、廃棄物を削減する。</p>	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制例)

環境(廃棄物)に関する役職は以下の通り

環境工場長(最高責任者)

設備情報部(排出物の外部委託管理、有効利用の立案、実行等)  
設備情報部長(環境管理推進責任者)

設備情報部(生産からの排出物の外部委託管理、有効利用の立案、実行等)  
(廃棄物管理責任者)

設備情報部(廃工場からの排出物の外部委託管理、有効利用の立案、実行等)  
(資源循環センター リーダー)

総務部(排出物の経理処理、一般廃棄物の管理、排出物の分別、削減方法立案等)  
総務部長

品質技術部(排出物の有効利用の立案、実行、排出物の分別、削減方法立案等)  
品質技術部長

業務部(外注業者の排出物等の管理、排出物の分別、削減方法立案等)  
業務部長

数計経算部(排出物の分別、削減方法立案等)  
数計経算部長

製造部(排出物の分別、削減方法立案等)  
製造部長

製造部物流G(排出物の分別、削減方法立案等)  
物流G長

製造部鉄工G(排出物の分別、削減方法立案等)  
鉄工G長

製造部パネルG(排出物の分別、削減方法立案等)  
パネルG長

製造部木工・複合G(排出物の分別、削減方法立案等)  
木工・複合G長

製造部ダインパネルG(排出物の分別、削減方法立案等)  
ダインパネルG長

当工場は平成13年2月にISO14001の認証を受け活動中であり  
活動中に廃棄物の削減を取り上げ長期計画を実行中です。  
上記組織図はISO14001活動の一部を抜粋したものです。

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が、1,000トン以上の事業場ごとに提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現在行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、「本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事量（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度実績）等の業種に依り事業区分が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ③欄には、「当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処分の工程（当該処分を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処置に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、工程及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律附行令第6条の1第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への自生利用委託量、認定熱回収施設業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設業者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、工程及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び工程の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。